



南区感染症対策研修会

嘔吐物等の処理方法について

嘔吐物等の処理のポイント

① マニュアルの作成と共有

- ・初心者でも対応できる
- ・一人でも対応できる
- ・定期的に研修を行う

迅速で適切な対応が重要です！

嘔吐物等の処理のポイント

② 必要物品の確認

- ・物品はセットで準備する
- ・定期的に物品の点検を行う

物品の保管場所は共有されていますか？



<ノロセット>

- ・塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）
- ・使い捨てマスク・手袋・上着
- ・使い捨てタオル（ペーパータオルや新聞紙）
- ・ビニール袋（大・中 複数枚）
- ・希釈用器具（ペットボトル・パケツ）
- ・手洗い用石けん *パケツは2個あると便利

消毒薬を薄める容器には、薬剤の量や水を入れるところまでの印を記載しておく。

6%塩素系漂白剤を60倍に薄めると0.1% (1,000ppm)



**塩素系漂白剤は
開封後半年程度が期限**

**消毒薬は作り置きせず
その都度作成する**

嘔吐物等の処理のポイント

③ 消毒液の濃度

		希釈液濃度			
		0.02% (200ppm)		0.1% (1000ppm)	
		希釈倍	希釈方法	希釈倍	希釈方法
原液濃度	1%	50倍	水1ℓ + 原液 20ml	10倍	水1ℓ + 原液 110ml
	5%	250倍	水1ℓ + 原液 4ml	50倍	水1ℓ + 原液 20ml
	6%	300倍	水1ℓ + 原液 3.3ml	60倍	水1ℓ + 原液 17ml
使用場所		・調理器具 ・床、トイレのドアノブ、レバー、便座、手洗いの水道栓 等		・嘔吐物、ふん便自体 ・拭き取った嘔吐物等の付いた紙 ・ふん便のついたオムツ 等	

《目安》・・・市販の塩素系漂白剤は5～6%が多い。ペットボトルのキャップ1杯は約5ml。

嘔吐物等の処理のポイント

④ 十分な範囲の消毒

- ・飛散範囲は広い

勢いよく吐くと数m先まで飛び散る

- ・横だけでなく縦にも広がる

壁やカーテンに付着する可能性あり

嘔吐物等の処理のポイント

⑤ PPE(個人防護用具)の適切な使用

- ・汚染面に触れない
- ・顔を拭ったり、眼鏡に触れない
- ・手指衛生の徹底

最後に

- ★ごみ袋を決められた場所に廃棄
 - 風通しの良い場所に
 - 袋を間違っって開けられないように

★石鹼・流水での衛生的な手洗い



処理前に行うこと

- ① スタッフへ声かけをする
- ② 利用者を避難させる
- ③ 嘔吐者を介抱する
- ④ 窓や扉を開けて換気する
- ⑤ 消毒液を作る
- ⑥ 嘔吐物を処理する

『嘔吐物の処理』演習

1. 物品の準備、身支度

2. 嘔吐物の処理

- ①嘔吐物にペーパータオルや新聞をかぶせる
- ②消毒液をかける
- ③嘔吐物をふき取り、ゴミ袋に入れる(繰り返す)
- ④ゴミ袋の中に消毒液を入れる
- ⑤外側の手袋を外す
- ⑥内側のゴミ袋を密封する
- ⑦ペーパータオルをかぶせて消毒(本来は10分位おく)
- ⑧ふき取り、ゴミ袋に入れる
- ⑨エプロン→手袋(アルコール消毒)→マスクを外す
- ⑩外側のゴミ袋を密封する